

南海トラフ巨大地震・津波対策事業
種崎地区の地震津波対策（海岸保全施設の整備等）に関するアンケート調査票

1. 千松公園や海辺の利用についてお聞きします。

1-1 今まで、この千松公園や海岸（海水浴場）はどのくらいの頻度で利用されていますか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 今回が初めて 2. ほとんど毎日 3. 月に数回 4. 年に数回 5. 年に1回程度 6. 数年に1回

1-2 今日は、何を利用して来られましたか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 自動車 2. 自転車 3. バス 4. 徒歩 5. その他（ ）

1-3 今日は、どなたと来られましたか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. ひとり 2. 家族 3. 友人などグループ 4. その他（ ）

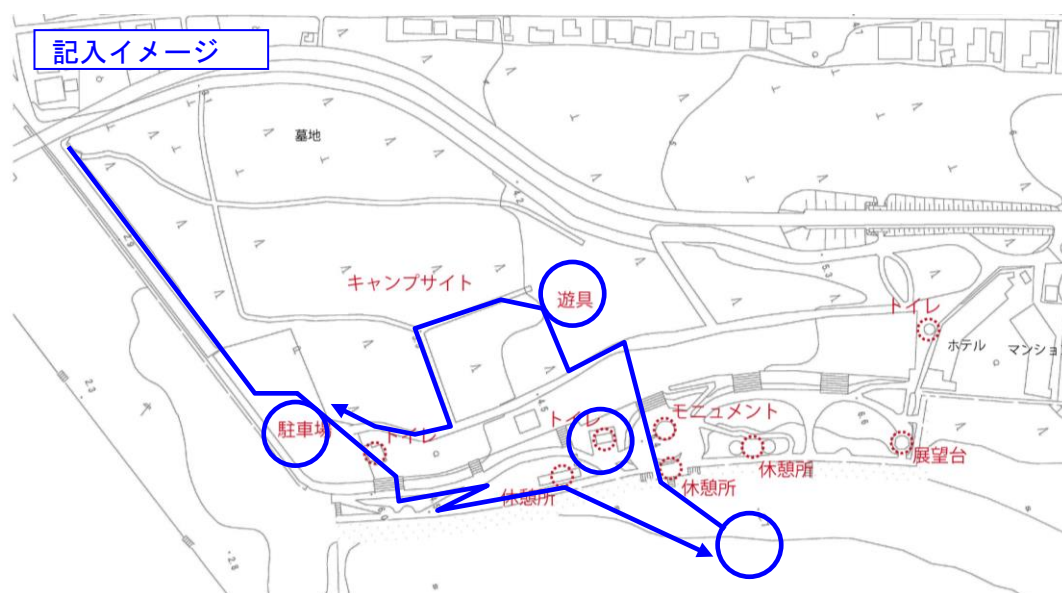
1-4 今回の来園目的はどのようなものですか？あてはまる番号を「○」で選んでください。（複数回答可）

1. 散歩 2. 犬の散歩 3. ジョギングや運動 4. 海を眺めに 5. 休憩
6. 海水浴やビーチスポーツ 7. 子どもの遊び 8. 自然観察 9. キャンプ
10. ボランティア活動 11. 釣り 12. サイクリング 13. イベント（夕涼み会等）
14. その他（ ）

2. 今回利用する（利用した）施設についてお聞きします。

2-1 今回、利用する（利用した）施設や立ち寄った場所はどこですか？下の図に○をつけてください。

2-2 上記の施設や場所を利用するために、通った経路（園路や遊歩道など）に下の図に→で記入してください。



2-3 上で選んだ公園や海辺の施設、園路や階段などを利用する上で、あなたが感じる良い所や課題（使いにくい、危ないなど）はありますか？

園内の施設について	遊歩道や休憩所から海を眺望できて良い、海を身近に感じる施設である など
園路・階段・スロープなどについて	十分に階段やスロープが設置されている、階段の勾配がきつい など

3. 千松公園や海辺の景観についてお聞きします。

3-1 千松公園は松林を有し、自然景観に配慮した公園となっています。また、砂浜に隣接した施設も、自然景観に配慮して、レンガブロックの遊歩道、休憩所、植樹などを整備しています。

公園や海辺で眺めのよい場所や好きな場所はどこですか？あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。（複数回答可）

1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜（海水浴場）	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他（ ）			
【理由】			

3-2 公園や海辺の景観で課題（悪い・まわりの景観に合わないなど）を感じる場所がありますか？

あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。（複数回答可）

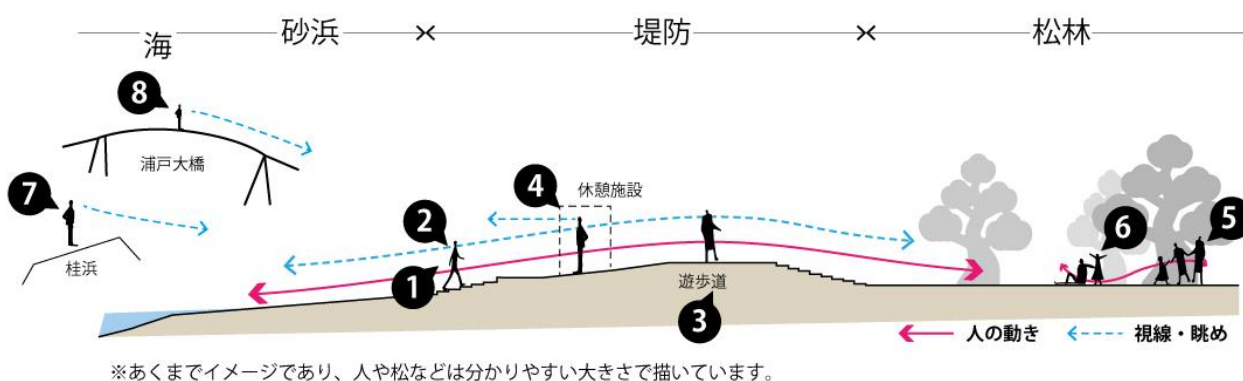
1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜（海水浴場）	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他（ ）			
【理由】			

4. 大切にしたい景観や体験についてお聞きします。

公園では、砂浜と松林が特徴的な景観資源となっていますが、どのような景観や体験を大切にしたいと思いますか。あてはまると思う番号に「○」を3つ程度選んでください。

1. 松林と砂浜が自由に（楽に）行き来できること
2. 松林と砂浜が視覚的につながっていること
3. 海岸部公園の遊歩道を歩くこと
4. 松林や海を眺めること
5. 松が生い茂った林の中を散策すること
6. 松林の中でゆっくり過ごすこと
7. 対岸の桂浜から、砂浜や松林を眺めること
8. 浦戸大橋から公園を眺めること
9. その他（ ）

選択肢のイメージ（断面図）



5. 津波に対する避難についてお聞きします。

5-1 この公園近隣の津波避難ビルは別紙(地図)のとおり「貴船ノ森津波避難センター」および「てくてね」となっています。津波避難ビルおよび避難経路について、ご存知ですか？あてはまる番号に「○」を1つだけ選んでください。

1. 避難ビル・避難経路ともに知っている	2. 避難ビルの存在は知っているが、避難経路は知らない	3. このアンケートで知った
↓	↓	↓
5-2 この地域からの避難経路で障害となるものはありますか？ 1. 避難する際に障害となるものはない 2. 砂浜から避難するのに階段やスロープが負担になる 3. 避難するのに公園の出入口が遠い 4. 避難するのに公園の出入口が少ない 5. どの方角に逃げればよいのか分かりにくい 6. 住宅街の中の道が分かりにくい 7. その他 ()	5-3 千松公園や砂浜に隣接した施設において、あるべき(又は不足している)地震・津波防災関係の情報はどのようなものか、あてはまる番号を「○」で選んでください。(複数回答可) 1. 避難誘導の標識 2. 海拔高さの表示 3. 津波浸水予測などの津波関連情報の案内板 4. その他 ()	

6. 種崎地区における南海トラフによる地震津波対策のための整備についてお聞きします。

高知県および国土交通省四国地方整備局では、南海トラフによる巨大地震、津波から人命や財産を守るために、「三重防護」の方針により浦戸湾沿岸における海岸保全施設(※)整備の事業を進めていくこととしています。(詳細は別紙をご覧ください)

※海岸保全施設とは、高潮・波浪等の海岸災害から背後の人命や財産を守る役割を担っている、防潮堤や護岸などのことです。

種崎地区においては、種崎海水浴場に隣接する施設が海岸保全施設となっており、発生頻度の高い津波が襲来しても背後地へ津波の浸水を許さない、施設の耐震対策や嵩上げの整備について検討しているところです。つきましては、次の内容について、皆様のご意見・要望をお聞かせください。

6-1 今後、種崎地区において地震津波対策を行う際に配慮すべき点について、あなたが思う優先順位(5位まで)を()に順位の数字を記入してください。

- () 人の命や財産を守るための防潮堤の整備
- () 防潮堤の早期の完成
- () 防潮堤の整備に関わるコスト削減
- () 日陰で休憩したり、海を眺めたりするための休憩所・公園施設の確保
- () 散策するための遊歩道や園路の確保
- () 海水浴や水辺で遊ぶための砂浜の保持
- () キャンプや森林浴などをするための松林の保持
- () 災害時の避難経路が分かる標識やサインの整備

6-2. 地震津波対策としての海岸保全施設(防潮堤など)の整備についてお聞きします。

以下の写真は、整備する海岸保全施設（防潮堤など）をイメージ（※）として示したものです。

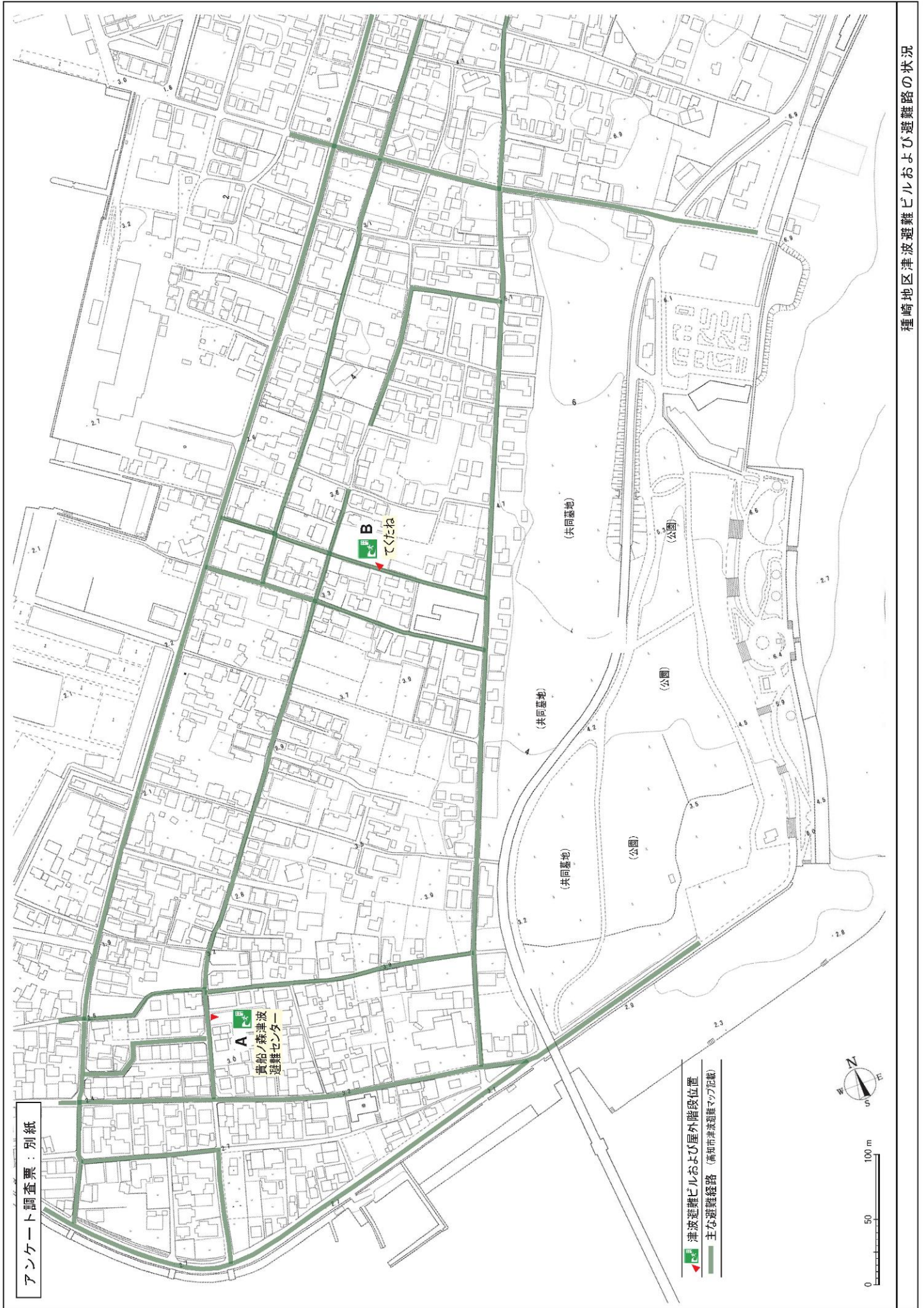
※海岸保全施設の構造等については現在検討中です。写真中の防潮堤の高さはイメージです。

以下の写真についてどのような印象を持ちましたか。

最も適当だと思われる項目に○をつけてください。(複数回答可)

千松公園からの視点	
砂浜からの視点	
選択肢	1. 津波などの災害から安全になりそう 2. 海への眺めが悪くならないようにしてほしい 3. 海辺へ行きやすいようにしてほしい 4. 防潮堤の上を歩いたり、眺めたりできそう 5. 圧迫感がありそう 6. 津波が来ても松林は守られそう 7. 松林は伐採してほしい 8. その他 ()





南海トラフ巨大地震・津波対策事業
種崎地区の地震津波対策（海岸保全施設の整備等）に関するアンケート調査票

千松公園や海浜公園（海水浴場）を利用した方にお聞きします。
利用したことが無い方は、答えられる設問（設問5、6など）に回答してください。

設問1. 千松公園や海辺の利用についてお聞きします。

1-1 今まで、この千松公園や海浜公園（海水浴場）、遊歩道はどのくらいの頻度で利用したことはありますか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 毎日 2. 週2～3回 3. 週4～6回 4. 週に1回 5. 月に数回 6. 年に数回

1-2 何を利用して千松公園や海浜公園（海水浴場）、遊歩道に行きますか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 自動車 2. 自転車 3. バス 4. 徒歩 5. その他（ ）

1-3 どなたと利用することが多いですか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. ひとり 2. 家族 3. 友人などグループ 4. その他（ ）

1-4 千松公園や海浜公園（海水浴場）、遊歩道を利用する目的はどのようなものですか？あてはまる番号を「○」で選んでください。（複数回答可）

1. 散歩 2. 犬の散歩 3. ジョギングや運動 4. 海を眺めに
5. 休憩 6. 海水浴やビーチスポーツ 7. 子どもの遊び 8. 自然観察
9. キャンプ 10. ボランティア活動 11. 釣り 12. サイクリング
13. イベント（夕涼み会等）
14. その他（ ）

設問2. 利用した施設についてお聞きします。

2-1 利用したことがある施設や立ち寄る場所はどこですか？あてはまる番号を「○」で選んでください。（複数回答可）公園施設は6ページをご覧ください。

1. 遊歩道 2. 展望台 3. 休憩所 4. 遊具
5. 海水浴場 6. キャンプサイト 7. ベンチ 8. 松林
9. その他（ ）

2-3 上で選んだ公園や海辺の施設、園路や階段などを利用する上で、あなたが感じる良い所や課題（使いにくい、危ないなど）はありますか？

園内の施設について	遊歩道や休憩所から海を眺望できて良い、海を身近に感じる施設である など
園路・階段・スロープなどについて	十分に階段やスロープが設置されている、階段の勾配がきつい など

設問3. 千松公園や海辺の景観についてお聞きします。

3-1 千松公園は松林を有し、自然景観に配慮した公園となっています。また、砂浜に隣接した施設も、自然景観に配慮して、レンガブロックの遊歩道、休憩所、植樹などを整備しています。

公園や海辺で眺めのよい場所や好きな場所はどこですか？あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。(複数回答可)

1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜 (海水浴場)	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他 ()			
【理由】			

3-2 公園や海辺の景観で課題(悪い・まわりの景観に合わないなど)とを感じる場所がありますか？あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。(複数回答可)

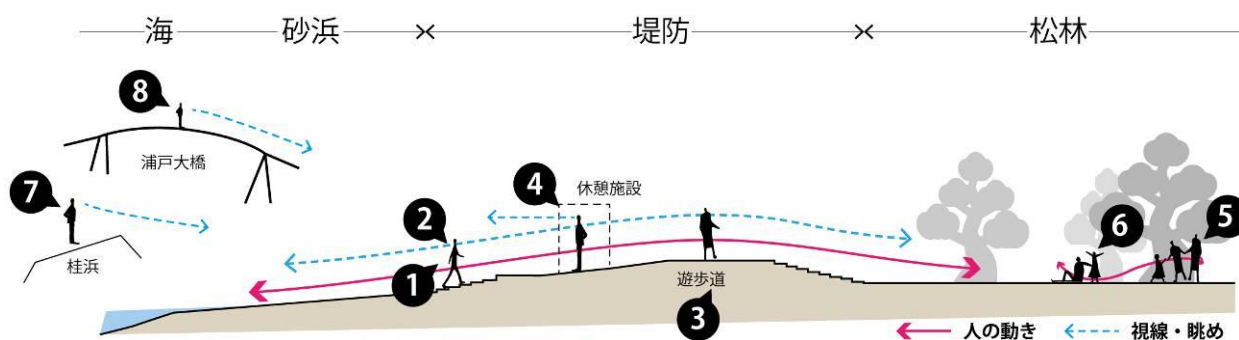
1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜 (海水浴場)	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他 ()			
【理由】			

設問4. 大切にしたい景観や体験についてお聞きします。

4-1 公園では、砂浜と松林が特徴的な景観資源となっていますが、どのような景観や体験を大切にしたいと思いますか。あてはまると思う番号に「○」を3つ程度選んでください。

1. 松林と砂浜が自由に (楽に) 行き来できること
2. 松林と砂浜が視覚的につながっていること
3. 海岸部公園の遊歩道を歩くこと
4. 松林や海を眺めること
5. 松が生い茂った林の中を散策すること
6. 松林の中でゆっくり過ごすこと
7. 対岸の桂浜から、砂浜や松林を眺めること
8. 浦戸大橋から公園を眺めること
9. その他 ()

選択肢のイメージ(断面図)



※あくまでイメージであり、人や松などは分かりやすい大きさに描いています。

設問 5. 津波に対する避難についてお聞きします。

5-1 この公園近隣の津波避難ビルは7ページのとおり「貴船ノ森津波避難センター」および「てくてね」となっています。津波避難ビルおよび避難経路について、ご存知ですか？あてはまる番号に「○」を1つだけ選んでください。

1. 避難ビル・避難経路ともに知っている	2. 避難ビルは知っているが、避難経路は知らない	3. このアンケートで知った
↓	↓	↓
5-2 この地域からの避難経路で障害となるものはありますか？（複数回答可） 1. 避難する際に障害となるものはない 2. 砂浜から避難するのに階段やスロープが負担になる 3. 避難するのに公園の出入口が遠い 4. 避難するのに公園の出入口が少ない 5. どの方向に逃げればよいか分からない 6. 住宅街の中の道が分かりにくい 7. その他（ ）	5-3 千松公園や砂浜に隣接した施設において、あるべき（又は不足している）地震・津波防災関係の情報はどのようなものか、あてはまる番号を「○」で選んでください。（複数回答可） 1. 避難誘導の標識 2. 海拔高さの表示 3. 津波浸水予測などの津波関連情報の案内板 4. その他（ ）	

設問 6. 種崎地区における南海トラフによる地震津波対策のための整備についてお聞きします。

高知県および国土交通省四国地方整備局では、南海トラフによる巨大地震、津波から人命や財産を守るために、「三重防護」の方針により浦戸湾沿岸における海岸保全施設（※）整備の事業を進めていくこととしています。（直轄海岸保全施設整備事業・ハザードマップをご覧ください）

※海岸保全施設とは、高潮・波浪等の海岸災害から背後の人命や財産を守る役割を担っている、防潮堤や護岸などのことです。

種崎地区においては、種崎海水浴場に隣接する施設が海岸保全施設となっており、発生頻度の高い津波が襲来しても背後地へ津波の浸水を許さない、施設の耐震対策や嵩上げの整備について検討しているところです。

つきましては、次の内容について、皆様のご意見・要望をお聞かせください。

6-1 今後、種崎地区において地震津波対策を行う際に配慮すべき点について、あなたが思う優先順位（5位まで）を（ ）に記入してください。

- （ ） 人の命や財産を守るための防潮堤の整備
- （ ） 防潮堤の早期の完成
- （ ） 防潮堤の整備に関わるコスト縮減
- （ ） 日陰で休憩したり、海を眺めたりするための休憩所・公園施設の確保
- （ ） 散策するための遊歩道や園路の確保
- （ ） 海水浴や水辺で遊ぶための砂浜の保持
- （ ） キャンプや森林浴などをするための松林の保持
- （ ） 災害時の避難経路が分かる標識やサインの整備

6-2. 地震津波対策としての海岸保全施設(防潮堤・護岸)の整備についてお聞きします。
 以下の写真は、整備する海岸保全施設(防潮堤・護岸)をイメージ(※)として示したものです。
 ※海岸保全施設の構造等については現在検討中です。写真中の防潮堤の高さはイメージです。

以下の写真についてどのような印象を持ちましたか。
 最も適当と思われる項目に○をつけてください。(複数回答可)

千松公園からの視点	
砂浜からの視点	
選択肢	1. 津波などの災害から安全になりそう 2. 海への眺めが悪くならないようにしてほしい 3. 海辺へ行きやすいようにしてほしい 4. 防潮堤の上を歩いたり、眺めたりできそう 5. 圧迫感がありそう 6. 津波が来ても松林は守られそう 7. 松林は伐採してほしい 8. その他 ()

6-3 地震津波対策としての海岸保全施設(防潮堤など)の整備において要望等がありましたら、お聞かせください。

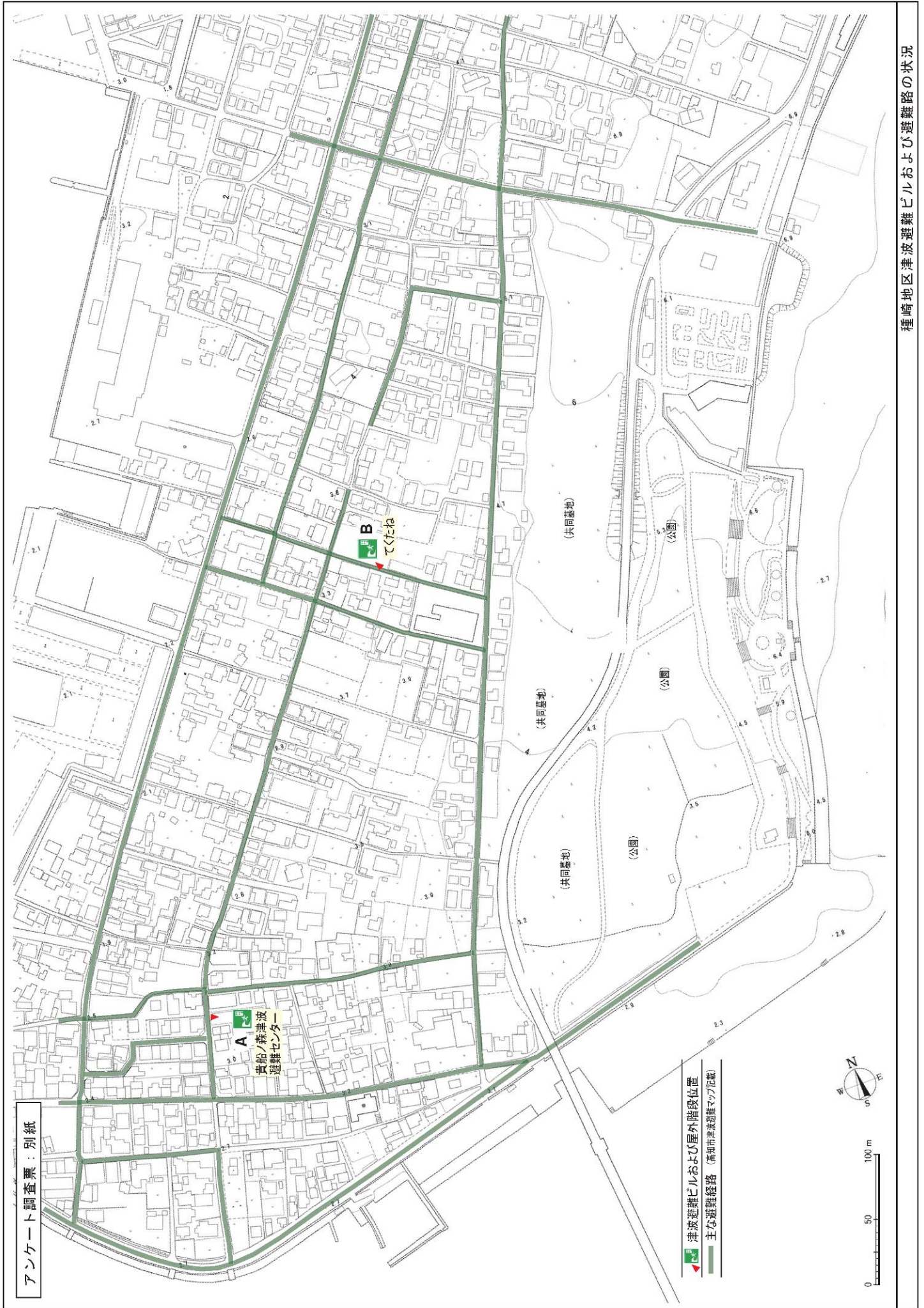
最後に、あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの年齢・性別・世帯形態について、それぞれあてはまる番号に「○」を1つずつお答え下さい。

年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60歳以上
性別	1. 男	2. 女				
世帯形態	1. 単身	2. 夫婦のみ				
	3. 数世代同居（夫婦と子供、夫婦と子供とその他の親族 など）					
現住所への 居住年数	1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満			
	4. 10～20年未満	5. 20年以上				

ご協力いただきありがとうございました。





南海トラフ巨大地震・津波対策事業
種崎地区の地震津波対策（海岸保全施設の整備等）に関するアンケート調査票

0. スクリーニング項目

0-1 あなたがお住まいの町名に該当するものを記入してください。

() 市 () 町

0-2 あなたは種崎海岸・千松公園のことを知っていますか。

1. よく知っている 2. 名前は知っている 3. あまり知らない 4. 初めて知った

⇒浸水区域内に居住している、かつ0-2の回答が1、2の回答者を対象とする

1. 千松公園や海辺の利用についてお聞きします。

1-1 今まで、この千松公園や海岸(海水浴場)はどのくらいの頻度で利用されていますか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 毎日 2. 週 2～3 回 3. 週 4～6 回
4. 週に 1 回 5. 月に数回 6. 年に数回 7. 行ったことがない

1-2 何を利用して千松公園や海浜公園(海水浴場)、遊歩道に行きますか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. 自動車 2. 自転車 3. バス 4. 徒歩 5. その他 ()

1-3 どなたと利用することが多いですか？あてはまる番号に「○」を1つだけ付けてください。

1. ひとり 2. 家族 3. 友人などグループ 4. その他 ()

1-4 千松公園や海浜公園(海水浴場)、遊歩道を利用する目的はどのようなものですか？あてはまる番号を「○」で選んでください。(複数回答可)

1. 散歩 2. 犬の散歩 3. ジョギングや運動 4. 海を眺めに 5. 休憩
6. 海水浴やビーチスポーツ 7. 子どもの遊び 8. 自然観察 9. キャンプ
10. ボランティア活動 11. 釣り 12. サイクリング 13. イベント（夕涼み会等）
14. その他 ()

設問 2. 利用した施設についてお聞きします。

2-1 利用したことがある施設や立ち寄り場所はどこですか？あてはまる番号を「○」で選んでください。(複数回答可) 以下の画像を参照してください。



1. 遊歩道	2. 展望台	3. 休憩所	4. 遊具
5. 海水浴場	6. キャンプサイト	7. ベンチ	8. 松林
9. その他 (			)

2-2 上で選んだ公園や海辺の施設、園路や階段などを利用する上で、あなたが感じる良い所や課題(使いにくい、危ないなど)はありますか？

園内の施設について	遊歩道や休憩所から海を眺望できて良い、海を身近に感じる施設である など
園路・階段・スロープなどについて	十分に階段やスロープが設置されている、階段の勾配がきつい など

3. 千松公園や海辺の景観についてお聞きします。

3-1 千松公園は松林を有し、自然景観に配慮した公園となっています。また、砂浜に隣接した施設も、自然景観に配慮して、レンガブロックの遊歩道、休憩所、植樹などを整備しています。

公園や海辺で眺めのよい場所や好きな場所はどこですか？あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。（複数回答可）

1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜（海水浴場）	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他（ ）			
【理由】			

3-2 公園や海辺の景観で課題（悪い・まわりの景観に合わないなど）を感じる場所がありますか？

あてはまる番号を「○」で選んで、理由をお聞かせください。（複数回答可）

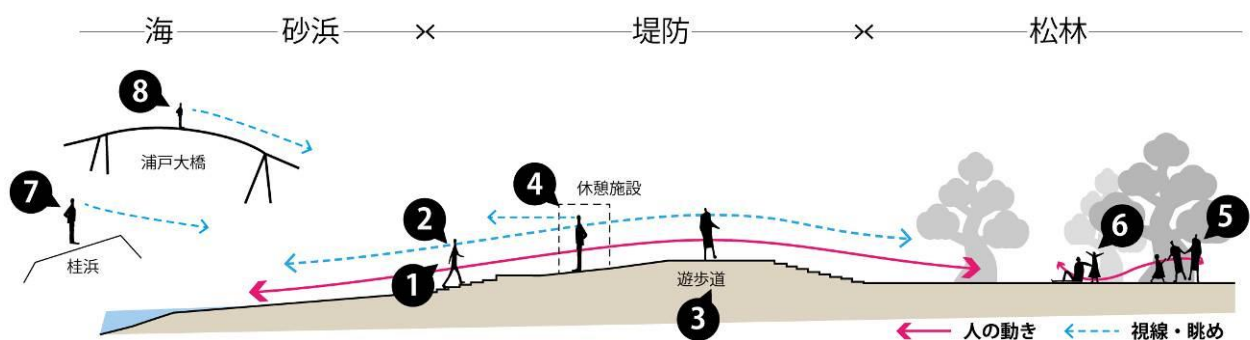
1. 松林	2. 海岸部公園の遊歩道	3. 砂浜（海水浴場）	4. 休憩所
5. 展望台	6. レンガブロックを用いた護岸		
7. その他（ ）			
【理由】			

4. 大切にしたい利用や体験についてお聞きします。

4-1 公園では、砂浜と松林が特徴的な景観資源となっていますが、どのような利用や体験を今後したいと思いますか。あてはまると思う番号に「○」を3つ程度選んでください。

1. 松林と砂浜が自由に（楽に）行き来できること
2. 松林と砂浜が視覚的につながっていること
3. 海岸部公園の遊歩道を歩くこと
4. 松林や海を眺めること
5. 松が生い茂った林の中を散策すること
6. 松林の中でゆっくり過ごすこと
7. 対岸の桂浜から、砂浜や松林を眺めること
8. 浦戸大橋から公園を眺めること
9. その他（ ）

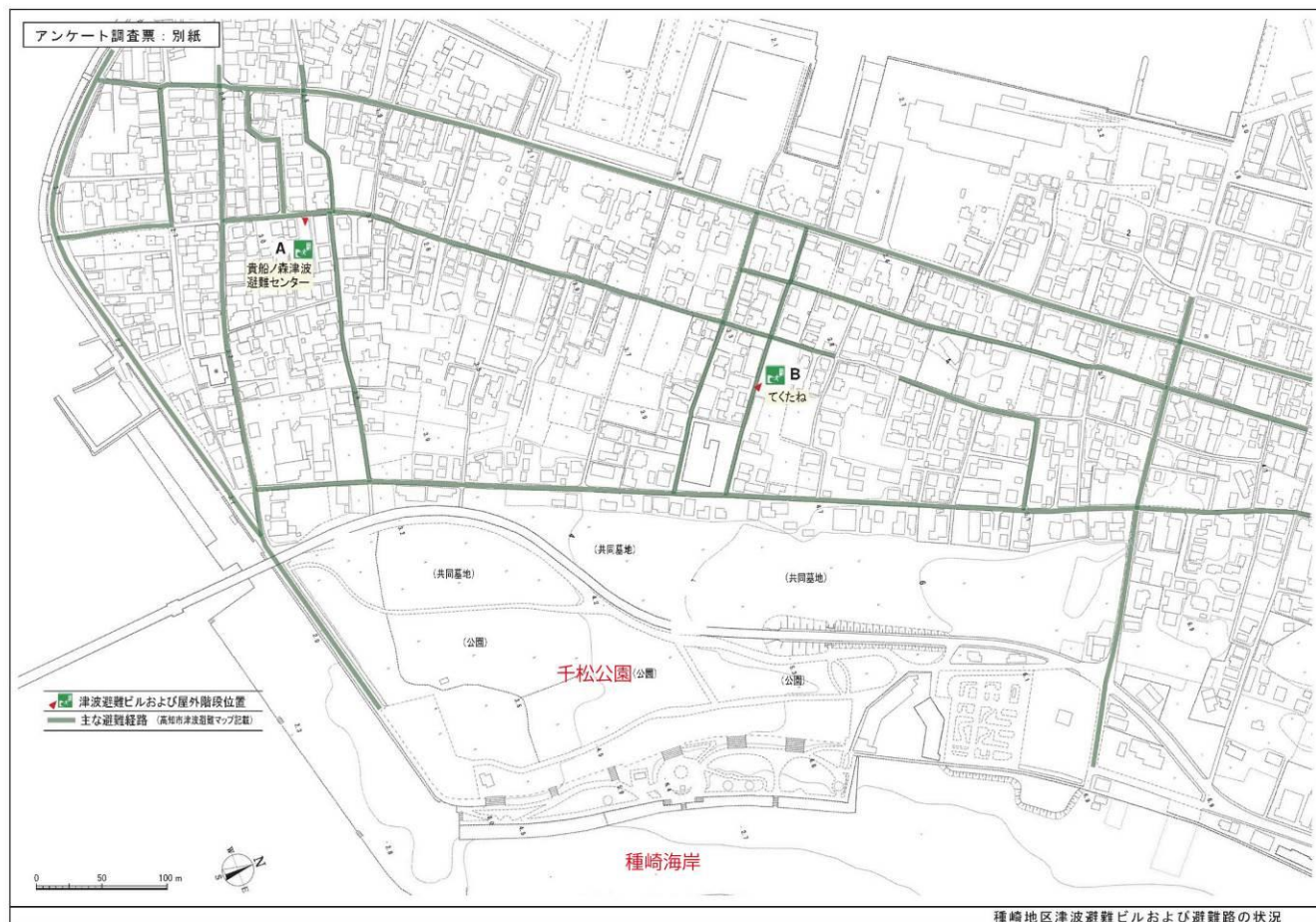
選択肢のイメージ（断面図）



※あくまでイメージであり、人や松などは分かりやすい大きさに描いています。

設問 5. 津波に対する避難についてお聞きします。

5-1 この公園近隣の津波避難ビルは以下の画像のとおり「貴船ノ森津波避難センター」および「てくたね」となっています。津波避難ビルおよび避難経路について、ご存知ですか？あてはまる番号に「○」を1つだけ選んでください。



1. 避難ビル・避難経路ともに知っている

2. 避難ビルは知っているが、避難経路は知らない

3. このアンケートで知った

5-2 この地域からの避難経路で障害となるものはありますか？(複数回答可)

1. 避難する際に障害となるものはない
2. 砂浜から避難するのに階段やスロープが負担になる
3. 避難するのに公園の出入口が遠い
4. 避難するのに公園の出入口が少ない
5. どの方角に逃げればよいか分からない
6. 住宅街の中の道が分かりにくい
7. その他 ()

5-3 千松公園や砂浜に隣接した施設において、あるべき(又は不足している)地震・津波防災関係の情報はどのようなものか、あてはまる番号を「○」で選んでください。(複数回答可)

1. 避難誘導の標識
2. 海拔高さの表示
3. 津波浸水予測などの津波関連情報の案内板
4. その他 ()

6. 種崎地区における南海トラフによる地震津波対策のための整備についてお聞きします。

高知県および国土交通省四国地方整備局では、南海トラフによる巨大地震、津波から人命や財産を守るために、「三重防護」の方針により浦戸湾沿岸における海岸保全施設（※）整備の事業を進めていくこととしています。以下の資料をご覧ください。

※海岸保全施設とは、高潮・波浪等の海岸災害から背後の人命や財産を守る役割を担っている、防潮堤や護岸などのことです。

事業の概要

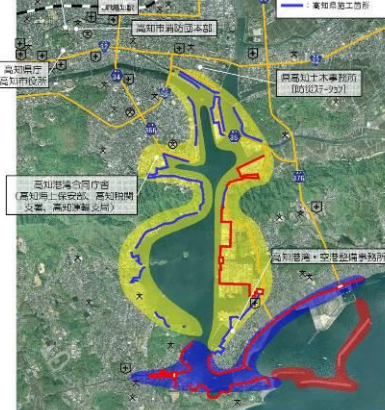
高知港沿岸が位置する高知市は、高知県全体の約47%の人口が集中しており、特に浦戸湾周辺には、行政機関や学校、病院などの公共施設が多数存在しています。しかし、高知港沿岸の海岸保全施設は、老朽化による防護機能の低下が顕著になっているものも多くなっています。

このため、南海トラフ巨大地震・津波に備え、地域の安全・安心を守るため、高知港沿岸においては、海岸保全施設を以下の3つのラインからなる「三重防護」による対策を行うものです。

第1ライン（第一線防護堤）： 結り強い構造への補強等を実施

第2ライン（津波防護堤・外縁部防護等）： 防潮堤等に対応した嵩上げ、液状化対策等の実施

第3ライン（内部護岸等）： 地盤沈下等に対応した嵩上げ、液状化対策等の実施

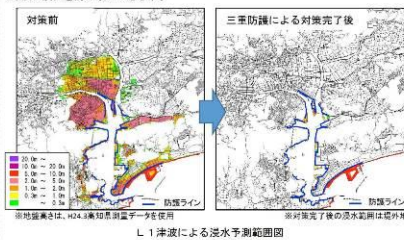


防護目標と整備の効果

高知港沿岸の海岸保全施設整備にあたっては、発生頻度の高い津波（L1津波）に対しては、津波防護ラインより陸側への津波の浸入を防ぐ「防災」、最大クラスの津波（L2津波）に対しては、浸水面積や浸水深の低減、津波到達時間を遅延させ避難時間を稼ぐ「減災」のための対策を図ります。

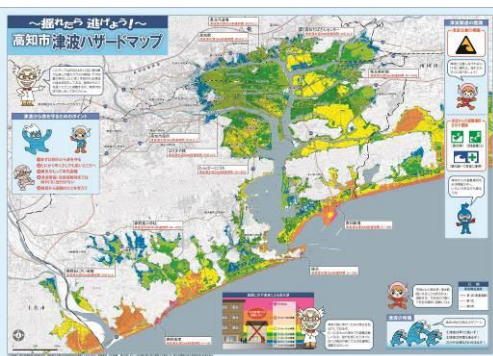


発生頻度の高い津波（L1津波）による高知港沿岸背後の浸水被害は、約1,600haと予測されており、三重防護による対策を実施することで、防護ラインより内側へ津波の浸入を防ぐことができます。



本事業の実施にあたっては、地震・津波対策の早期完成を目指すことはもとより、高知港沿岸が地域の顔に愛されるよう、日常の利用、景観、環境面に配慮しつつ、進めてまいります。引き続きご協力、ご支援を宜しくお願いいたします。

過去の昭和南海地震による被害



千松公園、種崎公園のある、種崎地区においては、種崎海水浴場に隣接する施設（防潮堤など）が海岸保全施設となっており、発生頻度の高い津波が襲来しても背後地へ津波の浸水を許さない、施設の耐震対策や嵩上げの整備について検討しているところです。

つきましては、次の内容について、皆様のご意見・要望をお聞かせください。

6-1 今後、種崎地区において地震津波対策を行う際に配慮すべき点について、あなたが思う優先順位（5位まで）を（ ）に順位の数字を記入してください。

- （ ） 人の命や財産を守るための防潮堤の整備
- （ ） 防潮堤の早期の完成
- （ ） 防潮堤の整備に関わるコスト縮減
- （ ） 日陰で休憩したり、海を眺めたりするための休憩所・公園施設の確保
- （ ） 散策するための遊歩道や園路の確保
- （ ） 海水浴や水辺で遊ぶための砂浜の保持
- （ ） キャンプや森林浴などをするための松林の保持
- （ ） 災害時の避難経路が分かる標識やサインの整備

6-2. 地震津波対策としての海岸保全施設(防潮堤など)の整備についてお聞きします。

以下の写真は、**種崎地区（種崎海岸・千松公園）**に整備する海岸保全施設（防潮堤など）をイメージ（※）として示したものです。

※海岸保全施設の構造等については現在検討中です。写真中の防潮堤の高さはイメージです。

以下の写真についてどのような印象を持ちましたか。

最も適当だと思われる項目に○をつけてください。(複数回答可)

千松公園からの視点	
砂浜からの視点	
選択肢	1. 津波などの災害から安全になりそう 2. 海への眺めが悪くならないようにしてほしい 3. 海辺へ行きやすいようにしてほしい 4. 防潮堤の上を歩いたり、眺めたりできそう 5. 圧迫感がありそう 6. 津波が来ても松林は守られそう 7. 松林は伐採してほしい 8. その他 ()

6-3. 地震津波対策としての海岸保全施設(防潮堤など)の整備において要望等がありましたら、お聞かせください。

最後に、あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの年齢・性別・世帯形態について、それぞれあてはまる番号に「○」を1つずつお答え下さい。

年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上					
性別	1. 男 2. 女					
世帯形態	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 数世代同居（夫婦と子供、夫婦と子供とその他の親族 など）					
現住所への 居住年数	1. 1年未満 2. 1～5年未満 3. 5～10年未満 4. 10～20年未満 5. 20年以上					

ご協力いただきありがとうございました。